

地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想

山梨県

1. 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

本県の旧国名は甲斐の国である。この名前の起源として近年、交わるという意味の「交ひ」あるいは「境」=「はざかい」が転じたという説が有力となっているが、農産物の例では、南限作物と北限作物とが交わる地域であるなど、古くから、様々な文物が交わる地域であったといわれている。

本県は戦後、「富める山梨」をスローガンにして、豊かな郷土づくりに県民総参加で取り組み、大きな成果を上げてきた。しかし、今日、戦後最長といわれる景気回復下にありながら、県内経済は全国的な景気回復基調から取り残され、長期停滞基調から抜け出せないのが現状である。

現在県では、「暮らしやすさ日本一」の県づくりを推進するため、山梨再生に向けた暫定版行動計画を作成し、「力みなぎる・やまなし」の実現に向け、創業支援対策、地域中小企業によるブランド確立支援、海外への販路拡大支援など様々な施策を展開しているところである。

地域の発展のためには、地域に存在する様々な主体、とりわけ中小企業が、内発的な発展を目指し、地域経営的な観点から、常に経営革新を行うことが重要であり、この際、地域に賦存する地域資源を経営資源として活用し、新商品・新事業を創発していくことが重要であることから、こうした取り組みを行う事業者を強力に支援していく必要がある。

(1) 本県経済の現状と課題

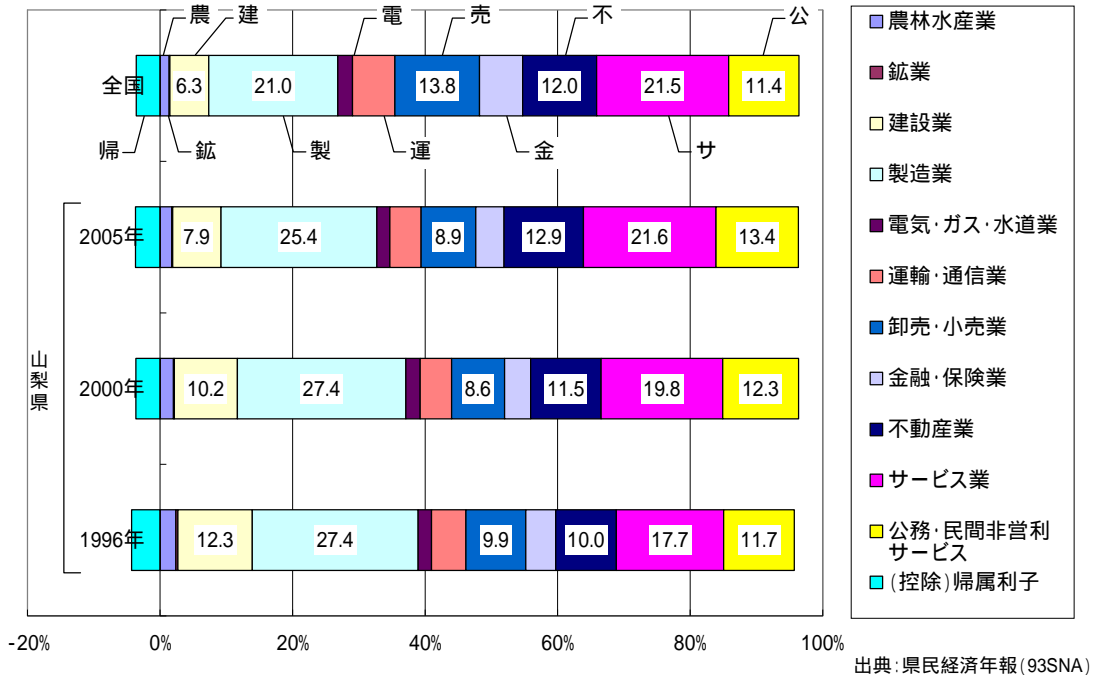
内閣府の月例経済報告（2007年6月18日）によれば、我が国経済の基調としては、「景気は、生産の一部に弱さがみられるものの、回復している」と判断され、また、日銀短観においても「日本経済は、引き続き緩やかに拡大しており、先行きについても、景気は息の長い成長を続けていく可能性が高い」との判断が示されている。

一方、本県経済に目を向けてみると、「産業用機械、半導体・液晶製造装置などの製造業を中心に緩やかに回復している（日銀甲府支店）」が、業種によっては、依然として厳しい経営環境にあり、県内中小企業にとっては、景気回復を実感するまでには至っていない状況にあるのが現状である。

県内総生産は、ITバブル崩壊に伴い、2001年に急激に落ち込んだものの、その後は徐々に回復基調にある。2005年における本県の県内総生産は3兆3,230億円（実質）であり、対前年比成長率は2.1%と、国の2.8%を下回っている。

2005年における県内総生産を産業別に眺めると、全国平均と比較し、製造業が占める割合が高いこと（全国21.0%に対し25.4%）、農業が占める割合が高いこと（全国1.5%に対して、1.9%）などが特徴的である。

図表 1 産業別県内総生産構成の推移



また、従業員規模別に見ると、従業員規模 1～4 人の事業所の占める割合が 66.6%と、全国第 4 位であるのに対し、従業員規模 100 人以上の事業所が占める割合は 0.62%と全国第 39 位となっており、全国に比べ、中小事業所の多い地域となっている。今後、これらの事業所の活性化が、本県経済にとって極めて重要な課題である。

図表 2 従業員規模別事業所割合

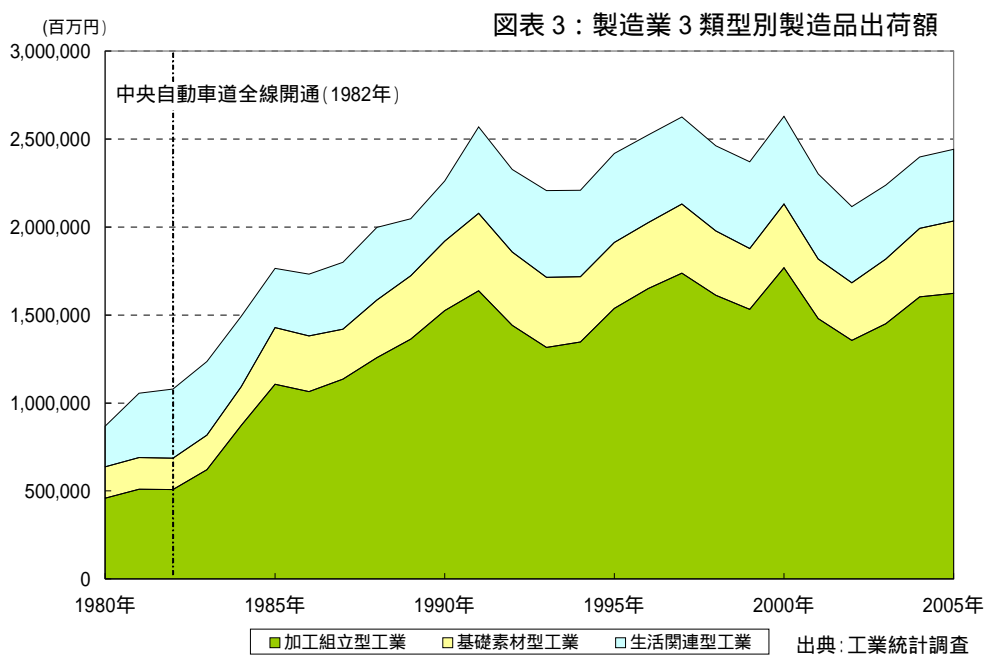
都道府県	従業員 1～4 人の事業所		同左 100 人以上の事業所	
	指標値	順位	指標値	順位
全国	61.56		0.92	
山梨県	66.60	4	0.62	39

事業所・企業統計調査報告(2004年)

(2) 主な産業ごとの特徴

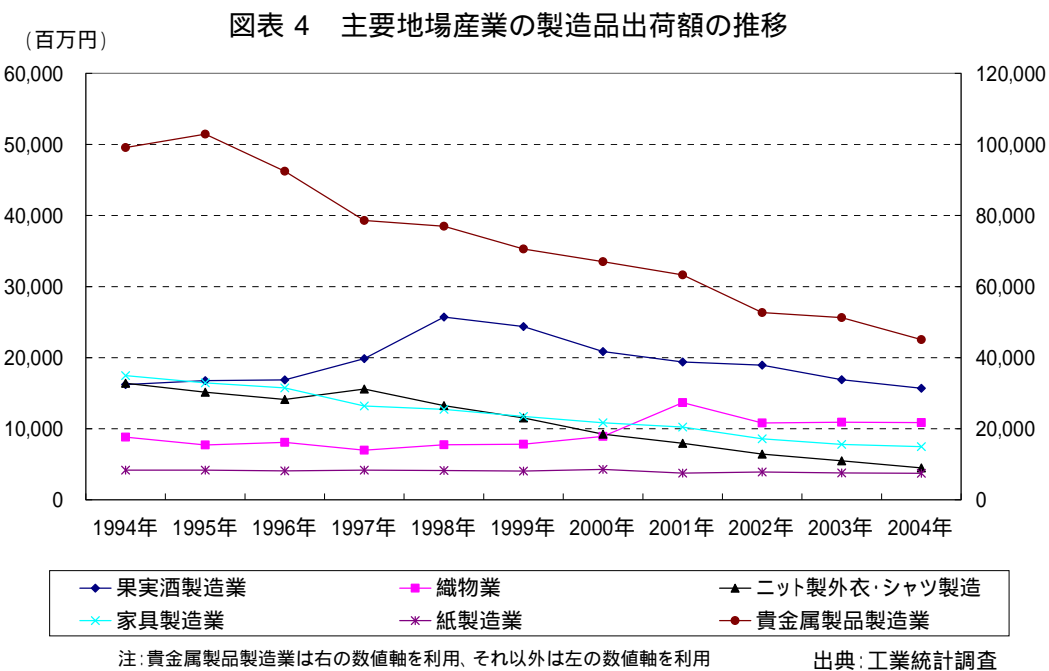
製造業

製造業 3 類型別の製造品出荷額の推移をみると、加工組立型工業の占める割合が 66.9%と、全国平均の 47.0%を大きく上回っている。この中でも特に、一般機械と電気機械が突出しており、全体に占める割合はそれぞれ 21.9%、36.1%となっている。特に本県では、切削、超微細技術、水晶発振子製造や単結晶に係る技術など、優位性を持った技術が多く、これらの産業は本県のリーディング産業と言える。



地場産業

県内の代表的な地場産業は、宝飾、ワイン醸造、テキスタイル、ニット、家具、和紙などである。これらの中で、宝飾は、バブル崩壊以降、生産は大幅に落ち込んでいる。また、ワインについても1996年以降の赤ワインブームにより、一時的に生産が増加したものの、ブーム終焉後は、生産量が減少している。織物は若干上昇傾向がみられるものの、ニットや家具などは縮小傾向が続いている。さらに、和紙については、横這い傾向で大きな変化がない。



農林業

本県農業は、果樹、野菜生産を中心とした集約型農業を展開しており、果樹王国として全国有数の果樹産地を形成している。また、八ヶ岳南麓や富士北麓では、酪農や肥育牛などの畜産経営が盛んに行われている。その一方、農業従業者当たりの農地面積は狭く、農業後継者不足が顕在化するとともに遊休農地も増加傾向にあるなど、将来に向けて大きな課題を抱えている。

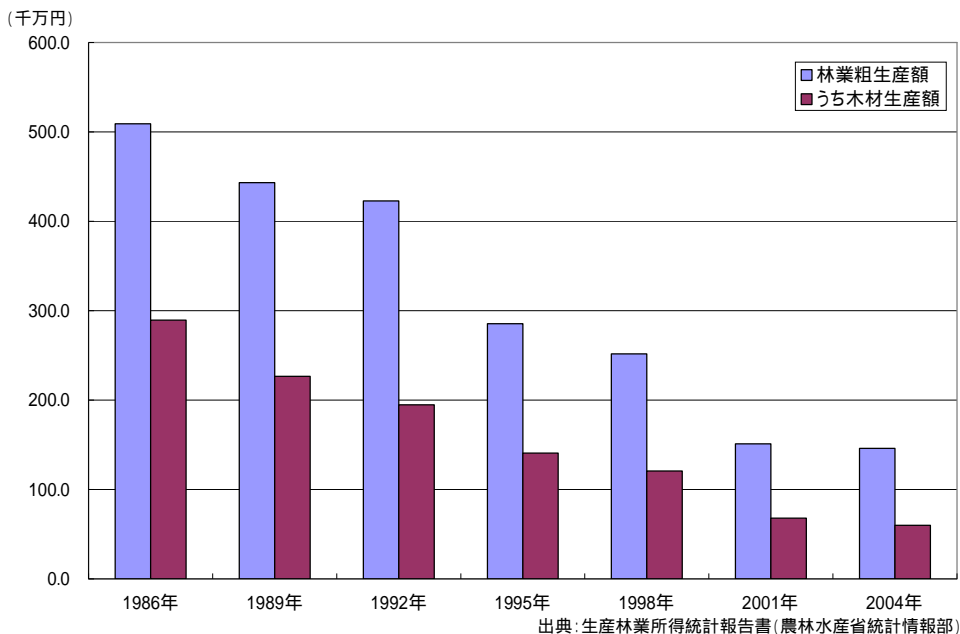
図表 5 本県の農業生産の現状

単 位	就業者 1 人当たり 農業産出額 [販売農家]		耕地面積比率 (耕地面積 / 総面積)		土地生産性 (耕地面積 1 ヘク タール当たり)		耕地面積 (農家 1 戸当たり)	
	万円		%		万円		㎡	
年 度	2004		2005		2004		2005	
	指標値	順位	指標値	順位	指標値	順位	指標値	順位
全 国	265.9		12.6		189.1		16,473.8	
山 梨 県	212.1	25	5.8	44	333.5	7	6,520.5	45

出典：統計でみる都道府県のすがた 2007

本県は、県土面積の約 78%を森林が占める全国有数の森林県であるが、木材価格の長期的な低迷などにより林業の採算性は大幅に低下している。このような中、路網の整備や高性能林業機械の活用により、施業の集約化を図り、利益が確保できる林業経営の実現を目指して取り組みを進めている。

図表 6 林業産出額の推移



観光

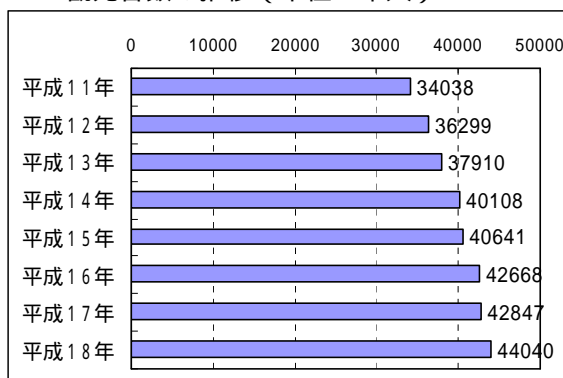
本県においては、観光を基幹産業として捉え、総合的に観光振興を推進する組織として観光部を創設するとともに、「観光立県富士の国やまなし推進本部・本部会議」を設置し、知事を先頭に全庁的に観光振興に取り組んでいる。

こうした中、2006年においては、観光客数、宿泊客数、観光消費額のそれぞれについて、対前年を上回る伸びを示している。これには、今年1月からNHK大河ドラマ「風林火山」が放映されている影響から、昨年後半からの観光客の増加につながった、という要因もある。また、外国人観光客数も対前年度比で15.7%増の69万人と大幅に増加しており、今後は、国内のみならず海外からの観光客誘致も視野に入れて、新たな観光資源の発掘と活用を進めることが求められている。

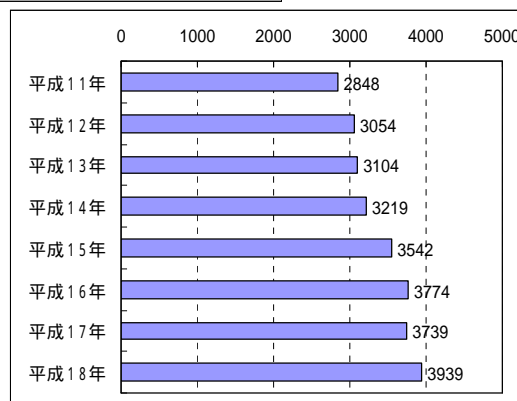
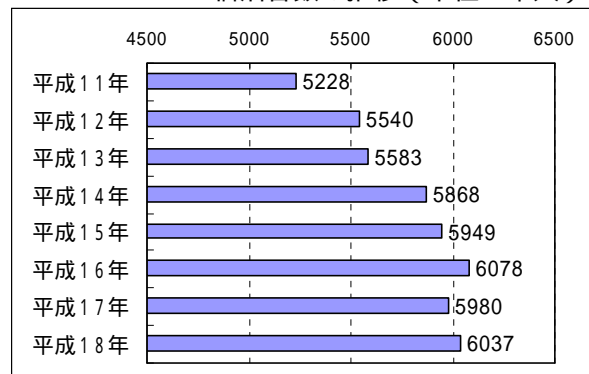
観光は、地域の総合的活性化産業である、という視点から、今後とも観光振興に積極的に取り組む必要がある。

図表7 山梨県の観光の状況

観光客数の推移（単位 千人）



宿泊客数の推移（単位 千人）



観光消費額の推移
（単位 千人）

出典：平成18年 山梨県
観光客動態調査結果

(3) 地域資源を活用した取り組みを進めることの意義

これまで概観してきたように、本県は、古くから多様な文物が交流する地域として発展してきた歴史を有しており、様々な個性的な地域資源が根付いてきた。

特に、ワイン、ジュエリー、印傳、テキスタイルなど、ファッション性に溢れ、高付加価値を生み出す可能性の極めて高い地場産業が発展してきたこと、さらには、農業においても、果樹、高原野菜、高品質畜産物などの嗜好性の強い食素材の生産基地であるとともに、これらを加工する高度な発酵技術など特殊技術も備えた地域である。

こうした様々な地域資源を有する本県において今日、地域活力の向上のためには、地域価値の向上と再生産を目標とした地域経営を推進することが必要とされている。具体的に言えば、次の点を重視して地域経営を進めていくことが重要となっている。

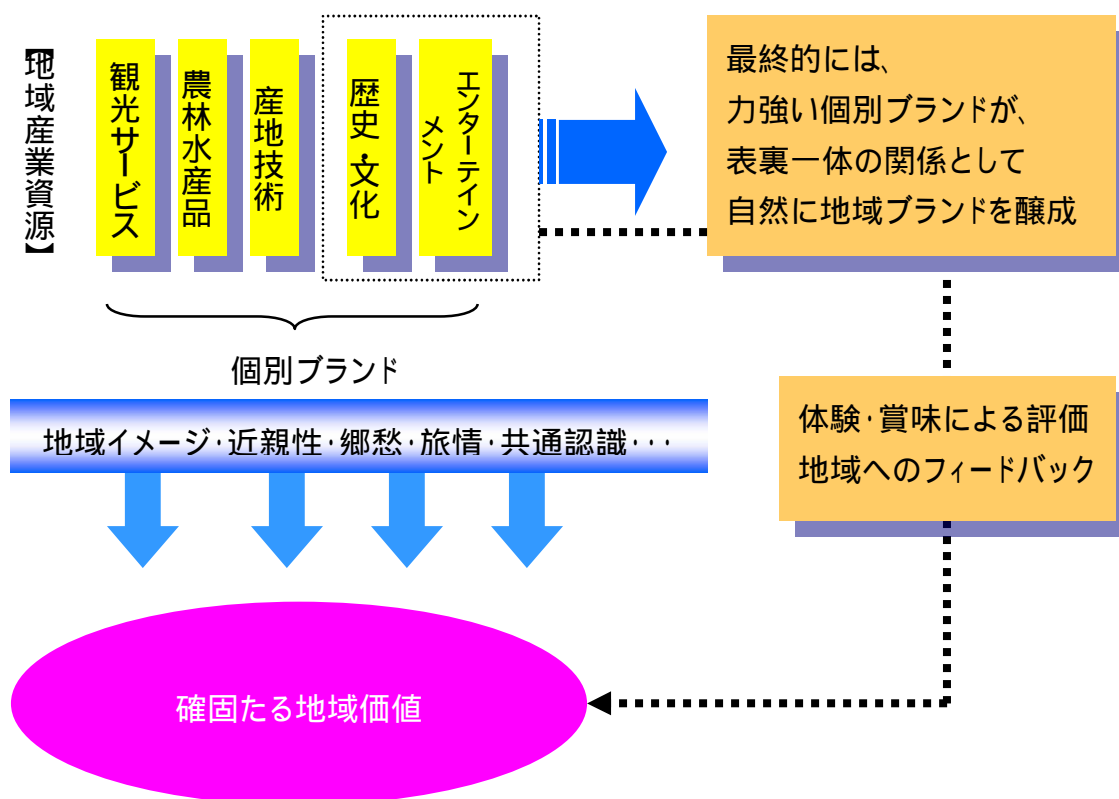
- 安定的に循環する地域経済の構築
- 多様な地域文化の創造と円滑な伝承
- これらを支える安全・安心な地域社会の維持

また、こうした地域経営を進める際には、自然的条件や、地理的、歴史的条件など地域特性を十分に勘案するとともに、地域の経営資源（人、物、資金、情報）や経営目標（社会的使命、経済的価値）を明確に把握し、地場中小企業、NPO、大学、行政などの地域経営に関わる主体が、共通意識を持って取り組むことが重要である。

この際、地域経済の重要な担い手である地場中小企業が、国内外において大きな支持を得られるような市場を開拓・獲得する必要があるが、このためには、まず地域産業資源を自らの経営資源とするとともに、これらを地域社会全体の中で磨き上げ、社会資本化していくことにより、地域そのものの価値を向上させていくことが不可欠である。

このため、本県においては、地域産業資源、農林水産品、観光資源の3つの地域資源を経営資源として活用する中小企業等を強力に支援し、力強い個別ブランドの創造を支援するとともに、最終的にはこうした個々の取り組みが積み重なり、集積していくことによって「確固たる地域価値（＝ブランド）」を創造することを目的に、中小企業地域資源活用プログラムを推進していく。

図表8 地域価値の循環



(4) 展開例及び今後の展望

現在、本県において、多くの中小企業が地域資源を活用して様々な取り組みに着手している。

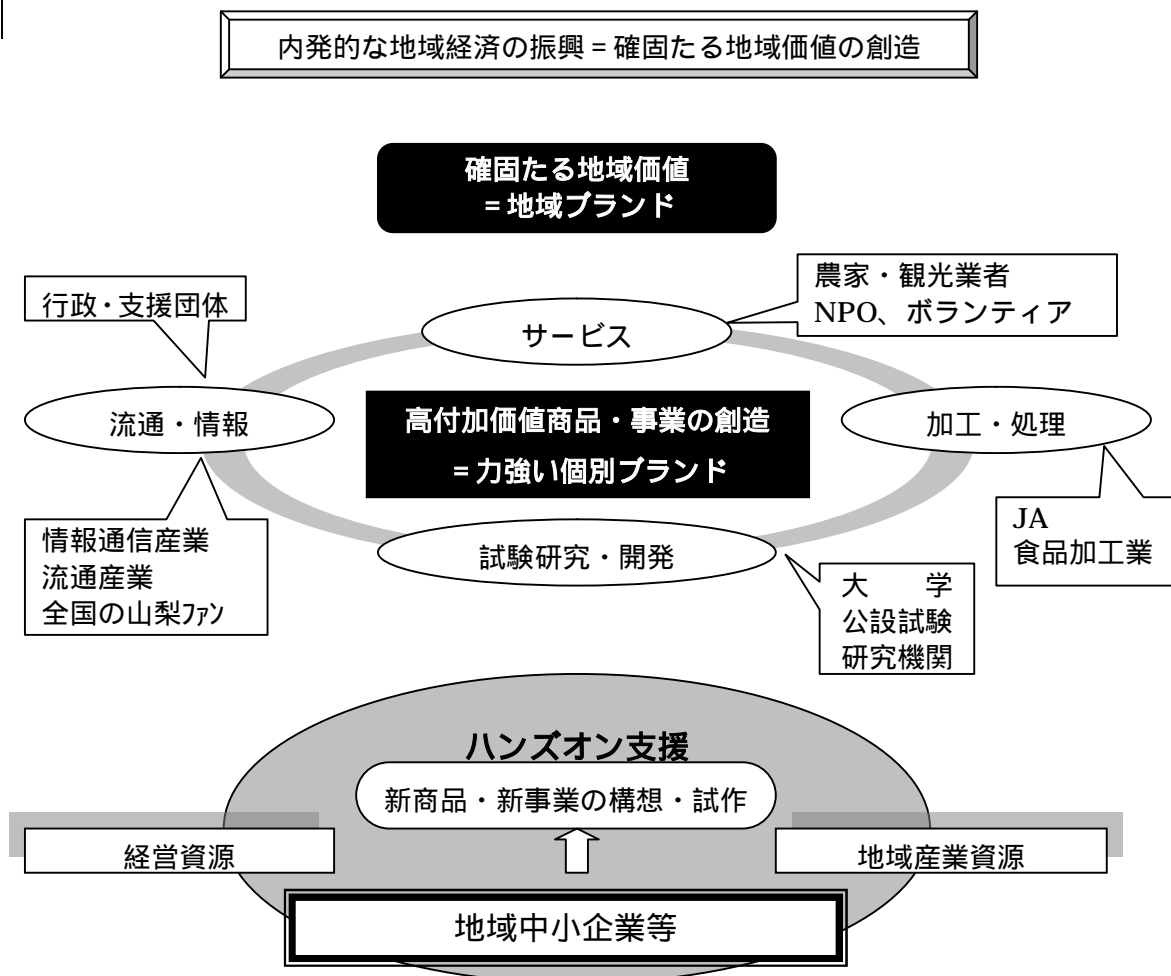
まず、本県の代表的な地場産業であるワイン産業においては、甲州種に含まれる柑橘系の個性的な成分を活用した新たなワインブランドづくりに取り組むとともに、ブドウの栽培からワインづくりに至る過程に消費者の参加を得て観光的な事業展開を行う、いわゆる「ワインツーリズム」も盛んになりつつある。

また、本県の代表的な農産物であるももについても、ドライフルーツ化やペースト化を図ることにより、洋菓子部門に活用するとともに、有名パティシエとのコラボレーションで商品価値を高めている例など個性的な動きがみられる。

さらに、また、富士北麓地域では、第二次大戦後に姿を消した甲斐絹の復活に取り組む織物業者のグループも現れている。山梨県産の生糸を100%使用して甲斐絹を復元し、現在、復元した生地で新商品開発、新市場開拓を進めている。

今後も、こうした動きを加速し、地域産業資源を活用した内発的な産業振興と、これによる確固たる地域価値の創造に努めていく。

図表9 地域資源を活用した内発的な産業振興のイメージ



2. 地域産業資源の内容

本県において、その産業資源を活用した中小企業による事業を促進する意義があると考えられる資源は以下のとおりである。

(1) 農林水産物

名称	地域産業資源に係る地域
竹	身延町、南部町
きのこ	県全域
甲斐八珍果	県全域
ぶどう	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、南アルプス市、甲斐市、増穂町、市川三郷町、北杜市、韮崎市、富士河口湖町
もも	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、中央市、甲斐市、南アルプス市、韮崎市
すもも	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、中央市、甲斐市、南アルプス市、増穂町
おうとう	山梨市、甲州市、笛吹市、富士河口湖町 南アルプス市、韮崎市、甲斐市、北杜市
ブルーベリー	北杜市 富士河口湖町、鳴沢村
ゆず	増穂町 上野原市
キウイフルーツ	韮崎市、市川三郷町、南アルプス市
梅(甲州小梅)	南アルプス市、甲斐市、笛吹市、山梨市、甲府市、甲州市、北杜市、韮崎市
イチゴ	甲府市、甲斐市、中央市、韮崎市、北杜市、山梨市、笛吹市、甲州市、昭和町、市川三郷町
夏どりイチゴ	北杜市 富士河口湖町 上野原市、道志村
クレソン	富士吉田市、道志村
大塚ニンジン	市川三郷町
浅尾だいこん	北杜市
やはたいも	甲斐市
鳴沢菜	鳴沢村
水かけ菜	都留市
スイートコーン	甲府市、中央市、市川三郷町、笛吹市、富士河口湖町、鳴沢村、富士吉田市、忍野村、山中湖村
なす	甲府市、中央市、笛吹市
トマト	甲府市、中央市、南アルプス市、北杜市、笛吹市
きゅうり	甲府市、甲斐市、韮崎市、北杜市、笛吹市、南アルプス市、中央市、昭和町
しそ(赤じそ・青じそ)	山中湖村、忍野村
甲州牛	北杜市、韮崎市、南アルプス市、中央市 笛吹市、富士河口湖町
甲州ワインビーフ	甲斐市

名称	地域産業資源に係る地域
フジザクラパーク	甲府市、中央市 韮崎市
甲州地どり	笛吹市
牛乳	北杜市 富士河口湖町
峡北米・武川米	北杜市、韮崎市、甲斐市
米(農林48号)	北杜市、韮崎市
紫黒米(朝紫)	北杜市、甲斐市 増穂町 都留市
花豆	北杜市、甲府市 富士吉田市
あけぼの大豆	身延町
あおはた大豆	都留市、富士吉田市、西桂町
バラ	笛吹市
ラベンダー	富士河口湖町
茶	南部町、身延町、早川町、市川三郷町
ウコン	大月市
養蚕(繭と桑)	市川三郷町、増穂町、中央市、甲斐市
ニジマス	富士吉田市、忍野村 甲州市 北杜市
ヒメマス	富士河口湖町

(2) 鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術

名称	地域産業資源に係る地域
スギ(山梨県産認証木材)	県全域
ヒノキ(山梨県産認証木材)	県全域
カラマツ(山梨県産認証木材)	県全域
アカマツ(山梨県産認証木材)	県全域
木炭	甲州市、富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町 北杜市 早川町
ジュエリー(甲州水晶貴石細工、山梨貴宝石を含む)	甲府市、笛吹市、甲州市、甲斐市、中央市、昭和町、南アルプス市、市川三郷町、増穂町
郡内織物(ふじやま織)	富士吉田市、西桂町、都留市、大月市、上野原市
ニット	甲府市、笛吹市、甲斐市、南アルプス市、市川三郷町、鯉沢町
和紙(市川和紙、西嶋和紙)	市川三郷町、身延町
印章(甲州手彫り印章)	甲府市、甲斐市、中央市、昭和町、市川三郷町、増穂町、鯉沢町、身延町、南アルプス市、韮崎市、笛吹市、山梨市、甲州市、大月市、都留市、富士吉田市
印傳(甲州印傳)	甲府市

名称	地域産業資源に係る地域
硯(甲州雨畑硯)	鯉沢町、早川町
甲州大石紬	富士河口湖町
甲州武者のぼり、鯉のぼり	南アルプス市
甲州鬼瓦	南アルプス市
親子だるま	甲府市
富士勝山スズ竹工芸品	富士河口湖町
山梨県産ワイン	甲州市、山梨市、笛吹市、甲府市、甲斐市、韮崎市、北杜市、市川三郷町、大月市、富士河口湖町
甲斐の地酒(日本酒)	甲府市、韮崎市、北杜市、南アルプス市、笛吹市、山梨市、甲州市、市川三郷町、増穂町、大月市、富士河口湖町、身延町、南部町
麺(甲州ほうとう)	県全域
吉田のうどん	富士吉田市
味噌(甲州調合味噌)	甲府市、韮崎市、北杜市、南アルプス市、身延町、山梨市 大月市
醤油	甲府市、韮崎市、北杜市、南アルプス市、身延町、山梨市 大月市
漬物(甲州小梅)	甲府市、笛吹市、韮崎市、北杜市、南アルプス市
鮑の煮貝	甲府市、中央市 甲州市
干し柿(ころ柿、あんぼ柿)	甲州市、山梨市、笛吹市 南アルプス市、市川三郷町、増穂町
大豆加工飲料	北杜市
ゆば	身延町
電子デバイス用単結晶材料	県全域
半導体・液晶製造装置	県全域
産業用ロボット	県全域
南アルプス山麓のミネラルウォーター(地下水・湧水)	北杜市、南アルプス市、早川町、増穂町、鯉沢町
富士北麓のミネラルウォーター(地下水・湧水)	富士吉田市、富士河口湖町、身延町、鳴沢村、山中湖村、忍野村、西桂町
秩父山麓のミネラルウォーター(地下水・湧水)	甲府市、甲斐市、北杜市、山梨市、甲州市
八ヶ岳山麓のミネラルウォーター(地下水・湧水)	北杜市
下部のミネラルウォーター(地下水・湧水)	身延町
多摩川源流のミネラルウォーター(地下水・湧水)	丹波山村、小菅村、甲州市
桂川流域のミネラルウォーター(地下水・湧水)	都留市、大月市、上野原市
道志のミネラルウォーター(地下水・湧水)	道志村

(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名称	地域産業資源の存する地域
山梨の森林(セラピーエリア)	甲府市、山梨市、塩山市、都留市、大月市、南アルプス市、笛吹市、甲斐市、甲州市、北杜市、上野原市、富士河口湖町、鯉沢町、身延町、南部町、市川三郷町、増穂町、早川町、小菅村、丹波山村
特別名勝富士山	富士吉田市、山中湖村、忍野村、鳴沢村、富士河口湖町
特別名勝御岳昇仙峡	甲府市、甲斐市
名勝猿橋	大月市
名勝恵林寺庭園	甲州市
名勝向嶽寺庭園	甲州市
史跡甲斐国分寺跡	笛吹市
史跡銚子塚	甲府市
史跡武田氏館跡	甲府市
史跡甲斐国分尼寺跡	笛吹市
史跡新府城跡	韮崎市
史跡勝沼氏館跡	甲州市
史跡金生遺跡	北杜市
史跡要害山	甲府市
史跡谷戸城跡	北杜市
史跡甲斐金山遺跡	甲州市 身延町
史跡白山城跡	韮崎市
史跡御勅使川旧堤防	韮崎市、南アルプス市
舞鶴城公園	甲府市
安藤家住宅	南アルプス市
ももの花	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、中央市、甲斐市、南アルプス市、韮崎市
ぶどう棚	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、南アルプス市、韮崎市、甲斐市、市川三郷町
富士箱根伊豆国立公園	山中湖村、富士吉田市、富士河口湖町、西桂町、忍野村、鳴沢村、身延町
秩父多摩甲斐国立公園	甲府市、北杜市、山梨市、塩山市、甲斐市、丹波山村、小菅村
南アルプス国立公園	北杜市、南アルプス市、韮崎市、早川町
八ヶ岳中信高原国定公園	北杜市
県立四尾連湖自然公園	市川三郷町
県立南アルプス巨摩自然公園	北杜市、南アルプス市、韮崎市、増穂町、鯉沢町、身延町、早川町
富士山	県全域
富士五湖	身延町、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町
南アルプス	韮崎市、南アルプス市、北杜市、増穂町、鯉沢町、早川町、身延町、南部町
北岳	南アルプス市
夜叉神峠	南アルプス市
八ヶ岳	北杜市
山梨百名山	県全域
船津胎内樹型	富士河口湖町
西湖蝙蝠穴	富士河口湖町
富士御室浅間神社	富士河口湖町
富岳風穴	富士河口湖町

名称	地域産業資源の存する地域
フジマリモの生息地	富士河口湖町 山中湖村
河口の稚児舞	富士河口湖町
追分人形	大月市
笹子峠の矢立の杉	大月市
岩殿山	大月市
孫子の旗(疾如風徐如林侵掠如火不動如山、風林火山)	県全域
リニアモーターカー実験線	都留市、大月市、上野原市、笛吹市
湯村温泉郷	甲府市
積翠寺温泉	甲府市
塩山温泉	甲州市
三富温泉郷	山梨市
芦安温泉郷	南アルプス市
増富温泉郷	北杜市
石和温泉郷	笛吹市
春日居温泉郷	笛吹市
西山温泉	早川町
下部温泉郷	身延町
富士河口湖温泉郷	富士河口湖町
新府城	韮崎市
甘利山	韮崎市、南アルプス市
明野ひまわり	北杜市
清里高原	北杜市
三分一湧水	北杜市
清春芸術村	北杜市
小淵沢リゾート	北杜市
白州尾白川	北杜市
山高神代桜	北杜市
フルーツ公園	山梨市
牧丘花かげ	甲州市、山梨市
万力公園	山梨市
乙女高原	甲府市、山梨市
西沢溪谷	山梨市
塩山歴史の郷	甲州市
勝沼ぶどう郷	甲州市、笛吹市
塩山果実の郷	甲州市
大和日川溪谷	甲州市
大菩薩山麓	甲州市、大月市、小菅村、丹波山村
笛吹桃源郷	笛吹市
芦川溪谷	笛吹市
深城ダム	大月市
桐原長寿の郷	上野原市
秋山川溪谷	上野原市

名称	地域産業資源の存する地域
宝の山ふれあいの里(高畑)	都留市
戸沢の森和みの里(戸沢)	都留市
サンパーク都留(鹿留)	都留市
多摩川源流	小菅村、丹波山村、甲州市
道志川渓谷	道志村
忍野八海	忍野村
北口富士浅間神社	富士吉田市、富士河口湖町
青木ヶ原樹海	鳴沢村、富士河口湖町
三ツ峠	都留市、笛吹市、西桂町、富士河口湖町
甲斐善光寺	甲府市
県立美術館(芸術の森公園)	甲府市
櫛形山・伊奈ヶ湖	南アルプス市、増穂町
南アルプス広河原	南アルプス市、早川町
南アルプス桃源郷	南アルプス市
武田神社	甲府市
市川花火の里	市川三郷町
歌舞伎公園	市川三郷町
六郷印章の里	市川三郷町
大法師公園	鯉沢町
十谷	鯉沢町
増穂ゆずの里	増穂町
南部火祭りの里	南部町
福土川	南部町
なかとみ和紙の里	身延町
身延山	早川町、身延町
南アルプス早川渓谷	早川町
七面山・赤沢宿	早川町、身延町
ヤマメの里	身延町
信玄公祭り	県全域
河口湖ハーフフェスティバル	富士河口湖町
富士河口湖紅葉まつり	富士河口湖町
冬花火・湖上の舞	富士河口湖町
甲斐八珍果の農園	県全域
ぶどう園	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、南アルプス市、甲斐市、増穂町、市川三郷町、北杜市、韮崎市、富士河口湖町
もも園	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、中央市、甲斐市、南アルプス市、韮崎市
ずもも園	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、中央市、甲斐市、南アルプス市、増穂町
おうとう園	山梨市、甲州市、笛吹市、富士河口湖町 南アルプス市、韮崎市、甲斐市、北杜市
ブルーベリー園	北杜市 富士河口湖町、鳴沢村
イチゴ園	甲府市、甲斐市、中央市、韮崎市、北杜市、山梨市、笛吹市、甲州市、昭和町、市川三郷町

名称	地域産業資源の存する地域
夏どりイチゴ園	北杜市
	富士河口湖町
牧場(牧草地)	北杜市
	富士河口湖町
ヒメマスの生息地	富士河口湖町

3. 地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進する方策

山梨県産業の「強み」は、大都市圏に隣接しながら持つ豊かな自然と景観、競争力のある機械電子関連産業及び宝飾・ワイン・織物などの特色ある地場産業の集積、高等教育機関や企業が持つバイオや新エネルギー関連などの技術シーズ、日本一の生産量を誇るぶどう、もも、すももの存在とそれを可能にする生態的、気象的な好立地であり、これらの「強み」を活かして、山梨らしさの追求による地域産業の新展開を図っている。

すなわち、地場中小企業の強化と自立化を促進するため、やまなしブランドの確立を進めるとともに、ものづくりと観光との連携強化や全国、海外に向けた県産品の市場開拓の支援等を行っている。

1. 個別地域産業資源に関する施策

地域経済を活性化するためには、地場中小企業が地域に賦存する資源を経営資源として取り込み、地域経済循環型の事業経営を展開することが重要であることから、地域産業資源を活用した商品又は役務の市場の拡大を促進するため、中小企業地域資源活用プログラムの展開に併せて、本県では次のような様々な取り組みを進めている。

中小企業地域資源活用プログラム推進事業

県が策定する「地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想」を中小企業者等に周知するとともに、中小企業者等の「地域産業資源活用事業計画」作成を支援する。

ア) 研修会等開催事業

法律施行時と基本構想認定後に、関係者に向けた研修会と事業説明会を開催する。

イ) 普及啓発事業

県で策定した基本構想の内容を説明したパンフレットを作成し、中小企業者等に周知するとともに、事業計画の作成を支援する。

また、やまなしブランドの確立を目指して、次のような事業を展開している。

やまなしブランド戦略推進事業

本県のブランドイメージを高めていく方策及び推進体制（庁内に「やまなしブランド推進本部」を平成19年6月に設置、及び各業界でブランド化に取り組む女性により構成される「やまなしブランド戦略懇話会」を平成19年7月に立ち上げ）を

構築し、戦略的な情報発信を行う。

やまなしブランド推進事業

やまなしブランドの確立を図るため、中小事業者等が取り組む産地ブランドの形成、産地のイメージアップ、販路開拓事業を支援する。

ア) 富士山ブランド推進事業

ロゴマークの普及啓発や関連商品の開発により、世界文化遺産登録に向けた活動などを通じて、地場産業のPR、販路拡大を図る。

イ) ブランドチャレンジ支援事業費補助金

補助先 産地組合、中小企業グループ等

事業内容 海外における産地ブランドの形成、販路開拓等

補助率 1 / 2

ウ) ブランド化デザインサポート事業費補助金

補助先 (財)やまなし産業支援機構

事業内容 新製品等のデザイン開発を行う中小企業者へデザイナーを派遣

補助率 2 / 3

エ) ジュエリーやまなしブランド推進事業費補助金

補助先 「輝きの祭典」実行委員会

事業内容 新製品等の販路開拓

補助率 1 / 2

オ) ワインやまなしブランド推進事業費補助金

補助先 県ワイン酒造協同組合

事業内容 酒販店等向けの試飲・商談会の開催、甲州ワイン輸出促進会議の開催

補助率 1 / 2

カ) 繊維やまなしブランド推進事業費補助金

補助先 富士吉田織物協同組合

事業内容 海外における産地ブランドの形成、販路開拓等

補助率 1 / 2

ワイン産地確立推進事業

世界に発信するワイン産地の確立を図るため、県産ワインの高品質化、ブランド化、消費拡大に向けた取り組みを支援するとともに、醸造用ブドウの高品質化に取り組む。

ア) ワイン産地振興事業費補助金

補助先 県ワイン酒造組合

事業内容 ワインまつりの開催、ワインキャンペーンの実施
補助率 1 / 2

イ) ワイン醸造技術支援事業費補助金

補助先 県ワイン酒造組合
事業内容 醸造技術の指導、共同研究会の開催
補助率 1 / 2

ウ) 優良系統選抜事業

エ) 栽培技術確立事業

オ) 栽培エキスパート育成事業

伝統産業振興対策事業

経済産業大臣の指定を受けた伝統工芸品（甲州水晶貴石細工、甲州印伝、甲州手彫印章）及び県が認定した郷土伝統工芸品（12品目）産業の保護育成、振興を図るため、展示会の開催、産地組合等による販路拡大等の取り組みに対する支援を行う。

ア) 伝統的工芸品展示会開催事業

事業内容 伝統工芸品の展示、製作実演、製作指導等

イ) 伝統的工芸品産地振興対策費補助金

補助先 県水晶美術彫刻協同組合、県印章店協同組合
事業内容 後継者育成、需要開拓事業等
補助率 1 / 2

ウ) 山梨県郷土伝統工芸品振興対策費補助金

補助先 市町村
事業主体 郷土伝統工芸品認定産地組合
事業内容 後継者育成、販路拡大事業等
補助率 1 / 2

エ) 郷土伝統工芸品共同展示会開催事業

事業内容 郷土伝統工芸品の展示等

やまなし農産物ブランド化推進事業

特選農産物認証制度等により県産農産物のレベルアップを図るとともに、その魅力を全国にPRし、消費拡大を図り、ブランド化を推進する。

ア) 特選農産物認証事業

イ) 食のやまなし販売促進支援事業費補助金

補助先 県農畜産物販売強化対策協議会

ウ) 農産物インフォメーションセンター運営費補助金

補助先 県農畜産物販売強化対策協議会

やまなしの花総合振興対策事業

地域の特性を活かした新しい産地の育成、既存産地の強化等、花きの生産振興を図る。

ア) 花のやまなしブランド推進事業費補助金

補助先 市町村

イ) 花の産地育成、消費拡大、指導等

ウ) ジャパンフラワーフェスティバル出展

さらに、ものづくりと観光の連携強化や、県産品の国内外への市場開拓や情報発信のため、次のような事業を展開している。

やまなし都市農村交流推進事業

観光関連産業と一体となった都市と農村の交流を促進し、参加・体験型のツーリズムの振興を図る。

ア) やまなし都市農村交流推進事業費補助金

補助先 富士の国やまなし農村休暇邑協会

補助率 定額

イ) やまなし都市農村交流市町村等推進事業費補助金

補助先 市町村、NPO等

補助率 定額

集客・交流推進事業

ア) 山梨の魅力メッセンジャー事業

他県に転出する県内大学卒業予定者をメッセンジャーに認定し、本県魅力を発信する。

イ) 集客・交流推進事業費補助金

地域資源を活用した観光の舞台づくり活動に対し助成する。

補助先 市町村・団体等

補助率 1 / 2

地産地消・新やまなしの膳開発普及事業

ホテルや旅館等と連携し、郷土の食材を活かした新しい山梨の味の普及・定着を図る。

富士の国やまなしロングステイ促進事業

本県ならではの観光資源を活用した、テーマ性のある長期滞在型の旅行メニューづくりを促進する。

地域観光コーディネート推進事業

ア) 地域観光コーディネート推進事業費補助金

地域特有の観光資源を活かした魅力ある観光地とするための事業を実施する地域観光協会、NPO等に対し助成する。

事業内容 推進会議の開催、コーディネーターの雇用等

補助率 1 / 2

やまなしライフ推進事業

都市住民と農山村の持続的な交流を進めるとともに、定住を促進するための取り組みを行う。

ア) 相談会開催

田舎暮らしの希望者に、本県で暮らす上で必要な情報を提供する相談会を開催する。

イ) やまなしライフ体験事業費補助金

本県で暮らすことの良さを実際に体験する機会を提供する事業に対し助成する。

補助先 市町村

補助率 1 / 2

ウ) モニタリング調査費

二地域居住を誘導促進するモニタリング調査を実施する。

やまなし魅力発信事業

観光客の一層の誘致と山梨ブランドの浸透を図るため、都内情報発信拠点「富士の国やまなし館」においてPR活動を行う。

富士の国やまなしネット情報発信事業

「富士の国やまなし観光ネット」を活用し、本県の観光・物産情報の発信機能を強化する。

「富士の国やまなし」甲斐的！デジタル御案内事業

観光客が携帯電話で観光情報を入手できる環境を整備する。

韓国観光トップセールス事業

韓国からの誘客を図るため、観光物産展及び観光プロモーションを開催し、知事が

トップセールスを行う。

中国観光トップセールス事業

中国からの誘客を図るため、政府機関や旅行会社等を訪問し、知事がトップセールスを行う。

社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業

インバウンド（海外から日本を訪れる）観光における新たな商品開発や外国人観光客に対するサービスを担う人材の育成を目的として、社会人を対象とした教育プログラムを実施する。

エコツーリズム推進事業

自然と観光の両立による持続可能な観光地づくりを推進するため、富士山北麓におけるモデル事業の手法・ノウハウを他地域に展開する。

事業内容 協議会の設立、地域資源調査の実施等

対象地域 南アルプス、奥秩父、八ヶ岳

やすらぎ空間整備事業

農山村にある地域資源（自然、民家、棚田等）を都市住民のやすらぎ空間として整備し、都市住民との交流により地域の活性化を図る。

ア) やすらぎ空間整備事業費補助金

補助先 山梨市

アグリビジネスモデル確立支援事業

高収益な農業を確立するため、生産から流通、販売までを一体的に捉えたアグリビジネスモデルの取り組みを推進する。

ア) 地域産地戦略会議開催事業

イ) アグリビジネスモデル・トライアル支援事業費補助金

補助先 市町村

事業主体 農協、農業生産法人等

事業内容 新商品の開発、販売促進活動等

補助率 1 / 2

ウ) バーチャルショップ開設支援事業費補助金

補助先 県農畜産物販売強化対策協議会

事業内容 県産農産物のバーチャルショップの開設・販売

補助率 1 / 2

県産果実輸出確立支援事業

県産果実の販路拡大を図るため、輸出モデルの確立に向けた取り組みに対し助成する。

ア) 県産果実輸出確立支援事業費補助金

補助先 県果実輸出協議会、農協

事業内容 輸出プロモーション活動、検疫措置に対応する選果体制の整備

補助率 1 / 2

もてなしの山梨特産畜産物生産流通支援事業

畜産・観光が連携した地域の活性化を推進するため、本県特産畜産物の生産及び需要の拡大を図る。

ア) 肉用繁殖牛増頭対策推進事業費補助金

補助先 (社) 県畜産協会

補助率 定額

イ) 遊休農地肉用牛放牧推進事業費補助金

補助先 営農集団

補助率 1 / 2

ウ) 新銘柄地どり開発事業

エ) ジビエ等山梨ブランド畜産物流通促進対策事業

シカ等野生鳥獣の肉(ジビエ)の活用等、本県の特産物づくりを促進する。

事業内容 協議会の開催等

森林ビジネス創出支援事業

山村住民や森林・林業に関わりたいU J Iターン者等の所得機会の確保と定住を促進するため、森林資源を活用したビジネスの創出を支援する。

事業内容 ビジネスプランの募集・選定・助成、選定委員会の運営

森林セラピー推進事業

ア) 森の癒し体験事業

森林セラピーモデルプログラムを公募し、モデルツアー対象地へのエージェン
トツアーを実施する。

イ) ネットワーク支援事業

森林セラピー推進ネットワーク(仮称)との共催で研修会等を実施する。

癒しの小径整備モデル事業

森林セラピーの推進を図るため、県有林において森林、歩道等の整備を行う。

県産材マーケット開拓総合対策事業

県産材の需要拡大を図るため、マーケットを拡大するとともに、安定供給システムを構築する。

ア) 県産材安定供給促進事業費補助金

補助先 県森林組合連合会、南部町森林組合、甲斐東部材産地形成事業協同組合

補助率 1 / 2

イ) 県産材マーケティング事業費補助金

補助先 甲斐東部材製材協同組合、協同組合山梨県産材健康住宅研究会

補助率 1 / 2

ウ) 広域素材流通促進事業費補助金

カラマツ材の利用促進を図るため、長野県などの近隣県と連携した大規模流通システムの構築に対し助成する。

補助先 県木材協同組合連合会

補助率 1 / 2、2 / 3

商業振興事業

ア) 一店逸品創出支援事業費補助金

個店の魅力に磨きをかけることにより来訪者を増やし、商店街の活力を再生する事業に対し助成する。

補助先 市町村

事業主体 商工会議所、商工会

事業内容 逸品づくり、実証実験事業等

補助率 1 / 3

2. 関連する施策

本県においては、中小企業による地域産業資源を活用した事業を促進し、地域経済の活性化を図るため、以下の中小企業支援施策を実施する。

金融面での支援

制度融資の活用による中小企業の資金調達の円滑化や、無担保・第三者保証人不要の融資制度の活用などにより金融面での支援に努める。また、新たに観光事業を

対象とする制度融資を創設し、多様化する観光ニーズへの柔軟な対応を図ろうとする中小企業者の設備投資を資金面から支援する。

将来大きな成長が期待できるベンチャー企業を支援するための「やまなしベンチャーファンド」の活用を促進するとともに、創業時に必要な資金の供給等を行う新たなファンドなどの創業支援策の検討を行う。

総合的な中小企業支援

(財)やまなし産業支援機構に「中小企業サポートセンター」を設置し、経営に関する相談、助言、情報の提供、取引のあっせん等をはじめ、中小企業支援に関連する事業を横断的に実施するとともに、これら事業を一貫して管理するプロジェクトマネージャー及びサブマネージャーを配置する。また、県内3箇所(甲府商工会議所、南アルプス市商工会及び県商工会連合会)に配置された経営革新支援アドバイザーや公設試験研究機関との密接な連携のもと、中小企業者に対してワンストップサービスの提供に努める。

経営革新の促進

県内中小企業者の経営革新計画への取り組みを支援するため、申請から承認、計画実行段階において多様な支援策を設け、経営革新や技術革新の実現を図る。

産学官連携の推進

新事業、新産業の創出を図るためには、産学官連携による取り組みが極めて重要であることから、産学官の垣根を越えた産業コミュニティの母体となるネットワーク組織を設置、運営するとともに、産学官連携による共同研究や研究成果の技術移転を進める。

技術支援

新製品の研究開発や新事業展開における技術開発などの取り組む企業への助成や支援の充実を図る。また、産業界に研究成果を迅速に還元していくため、県立試験研究機関における研究開発分野の重点化を進める。

中小企業のIT利活用の推進(情報化支援)

(財)やまなし産業支援機構が中心となり、電子商取引の活用促進など中小企業のIT化を支援する。また、商工指導団体と連携してITの利活用による経営革新を支援する。

人材育成

技術革新の進展に対応できる高度な技術・技能及び専門知識を併せ持った技術者を育成するため、産業技術短期大学の充実を図るとともに、時代の変化に対応して総合力を持った人材を育成するため、宝石美術専門学校の改革を行うなど、地場中小企業を支える優秀な人材の育成・確保を進める。

地場産業の総合支援

地場産業の市場の創造と拡大を図るため、山梨ブランドの確立を進めるとともに、

観光などとの連携強化や全国、海外に向けた県産品の市場開拓を支援する。また、地場産業の育成と地場中小企業の自立化の促進を図るため、経営基盤の強化や自主的な取り組みに対し支援する。さらに、商品開発力向上のため、デザイン開発力の強化等の支援を行う。